

MG composite scale

記入日	年 月 日		
担当医師名		患者名	

- 重症筋無力症(MG)では多彩な症状がみられるうえ、日内変動があり、外来診察だけで医師が患者さんの状態を正確に把握するのは困難な場合があります。
- 下の表は、MGの重症度を評価する「MG composite scale」です。合計点数が高いほど重症ということになります。
- 患者さんの症状の評価にお使いください。

検査項目の状態にあてはまる点数を点数記入欄にご記入のうえ、活用ください。

検査項目									点数記入欄
上方視時の眼瞼下垂出現までの時間(医師の観察)	>45秒	0	11~45秒	1	1~10秒	2	常時	3	
側方視時の複視出現までの時間(医師の観察)	>45秒	0	11~45秒	1	1~10秒	3	常時	4	
閉眼の筋力(医師の観察)	正常	0	軽度低下 (閉眼維持可能)	0	中等度低下 (閉眼維持困難)	1	重度低下 (閉眼不能)	2	
会話、発音(患者の申告)	正常	0	時に不明瞭 または鼻声	2	常に不明瞭または 鼻声だが理解可能	4	不明瞭で 理解が困難	6	
咬む動作(患者の申告)	正常	0	固い食物で疲労	2	柔らかい食物でも 疲労	4	栄養チューブ 使用	6	
飲み込み動作(患者の申告)	正常	0	まれにむせる	2	頻回のもせのため 食事に工夫を要す	5	栄養チューブ 使用	6	
MGによる呼吸状態	正常	0	活動時息切れ	2	安静時息切れ	4	呼吸補助 装置使用	9	
頸の前屈/背屈筋力 (弱い方を選択、医師の観察)	正常	0	軽度低下	1	中等度低下 (おおよそ半減)	3	重度低下	4	
上肢の挙上筋力 (医師の観察)	正常	0	軽度低下	2	中等度低下 (おおよそ半減)	4	重度低下	5	
下肢の挙上筋力 (医師の観察)	正常	0	軽度低下	2	中等度低下 (おおよそ半減)	4	重度低下	5	
合計(0~50点)									

「重症筋無力症診療ガイドライン」作成委員会編、重症筋無力症診療ガイドライン2014。東京：南江堂；2014。